

三陸鉄道「こたつ列車」復活

列車内の座席が「こたつ」。ぬくもりあふれる、名物『こたつ列車』が復活します。15日の復活運行を前に、三陸鉄道のキャラバン隊がIBCを訪れ、PRしました。IBCを訪れたのは、三陸鉄道の広報清水川亜梨沙さんとマスコットキャラクターのさんてつくん、そして鬼の面をつけた「なもみ」。3人編成のキャラバン隊です。去年は震災の影響で運行が行われなかった「こたつ列車」ですが、今年は復活！冬の三陸を楽しんでもらおうと、沿岸北部の小正月行事「なもみ」が車内に登場し、旅を盛り上げます。「こたつ列車」は、今月15日から来年の3月末までの土日・祝日に運行。年明け1日から6日までは毎日運行され、久慈・田野畑間を1日1往復します。(12/13 ニュースエコーより)



大槌港灯台点灯式

去年3月の大津波で倒壊した大槌町の灯台が復旧工事を終え、点灯式が行われました。復興の願いを込めた新たなデザインの日灯台です。人形劇「ひょっこりひょうたん島」のモデルとされる蓬莱島は震災の津波で大きな被害を受け、



灯台も倒壊しました。釜石海上保安部では灯台の復旧にあたり、町民からデザインを公募。点灯式では266点の中からデザインを採用された岩間みな子さんと灯台の名前を記した表札を揮毫した赤浜小6年の黒澤宏太くんの2人がスイッチを押し、灯台に新たな灯りを灯しました。(12/13 ニュースエコーより)

釜石警察署に参上

復興刑事トラマイダー



釜石市に事件や事故から子供達を守るご当地ヒーローが誕生しました。警察官が変身するその名も「復興刑事トラマイダー」です。復興刑事トラマイダーは釜石・大槌地域に伝わる郷土芸能「虎舞」が名前の由来。実在する大槌交番勤務、24歳の伊藤大樹巡査が子供の危険を察知すると正義の味方、トラマイダーに変身するという設定で、子供を狙う悪の組織、ブラックジョーカーに立ち向かいます。年末年始特別警戒の初日にあわせて14日はトラマイダーが釜石警察署の一日署長に任命されました。

(12/14 ニュースエコーより)

フィンランド政府公認サンタ

山田町の保育園を訪問

山田町の保育園に長いひげをたくわえたサンタクロースが訪れ子どもたちにひと足早いクリスマスプレゼントを届けました。山田町の大浦保育園を訪れたのはフィンランド政府公認のサンタクロースです。フィンランドのサンタは例年、盛岡を訪れていましたが震災後は沿岸の子どもたちを喜ばせようと去年は大槌町、そして今年山田町への訪問となりました。



サプライズ訪問に目を丸くした園児たちですが次第に打ち解け「お昼ご飯は何を食べますか?」と質問すると…。寿司やすき焼きが好きですよ、と答え園児たちの笑いを誘っていました。(12/19 ニュースエコーより)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中
詳細はIBC公式サイトから <http://www.abc.co.jp/>
IBC復興支援室事務局 019-623-3122